

喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ

名前 解答

解答

問1 喫煙・飲酒・薬物乱用の開始には、個人の要因が関係する。個人の要因には何があるか。4つ挙げよ。

- ( 知識 ) ( 考え方 )  
 ( 対処能力 ) ( 心理状態 など )

問2 喫煙・飲酒・薬物乱用の開始には、社会的環境の要因が関係する。社会的環境の要因には何があるか。3つ挙げよ。

- ( 周囲の人たちの喫煙や飲酒 ) ( 断りにくい人間関係 )  
 ( 周囲の人からの喫煙・飲酒・薬物乱用の誘い など )

問3 喫煙・飲酒・薬物乱用をしないためには、どのような対策を行えばよいか。4つ挙げよ。

- ( 害について理解する ) ( 手を出さないという意思を強く持つ )  
 ( 断り方などの対処能力を身につける ) ( ストレス対処能力を高めておく )

問4 20歳未満の喫煙・飲酒を防止するための対策として、どのようなことが行われているか。5つ挙げよ。

- ( 喫煙・飲酒の害を知らせる警告表示 ) ( 宣伝・広告の規制 )  
 ( 自動販売機の規制 ) ( 年齢確認 )  
 ( 罰則の強化 )

問5 薬物の使用を禁止するための対策として、どのようなことが行われているか。

- ( 密売・密輸を防ぐための法律が整備されたり、取り締まりが強化されている。 )

問6 喫煙、飲酒、薬物乱用を始めるときの心理状態や考え方について、例を4つ挙げよ。

- ( 一回だけなら大丈夫だろうと考える。 ) ( 大人になった気になる。 )  
 ( なんとなくかっこいいと思う。 ) ( 投げやりになっている。 )

※他に、断れない、イライラや憂鬱で手を出す、害があることを知らない、などの例がある。

問7 喫煙・飲酒・薬物乱用の開始には、2つの要因があると考えられている。2つの要因とは何か。

- ( 個人の要因 ) ( 社会的環境の要因 )

問8 次の文について、正しいものには○で、間違っているものには×で答えよ。

- ①薬物犯罪では、インターネットを用いた密売などもあり、手口が複雑で巧妙になっている。 ( ○ )  
 ②喫煙・飲酒・薬物乱用の開始に、個人のコミュニケーション能力は関係ない。 ( × )  
 ③薬物の誘いには、薬物だとわからない呼び名を使って誘ってくることもある。 ( ○ )

